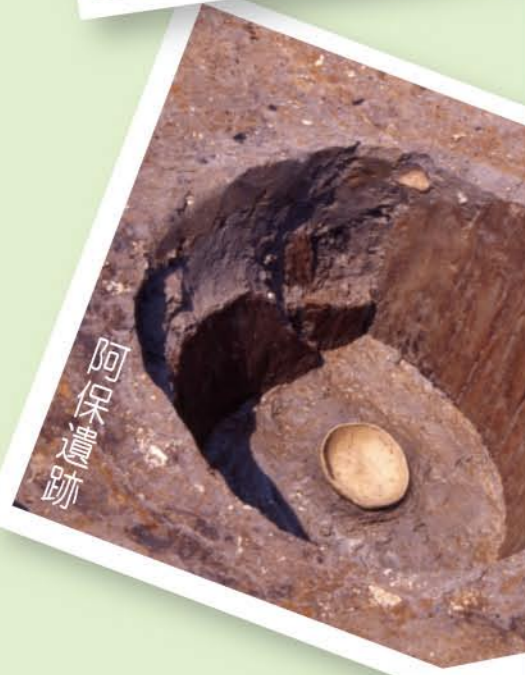




和久遺跡



阿保遺跡



姫路城大手門跡

発掘調査速報展

企画展

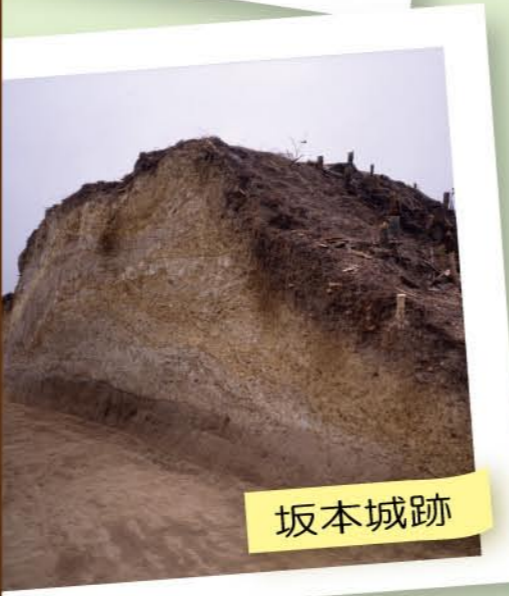
2006

4.29(祝)
5
7.9(日)

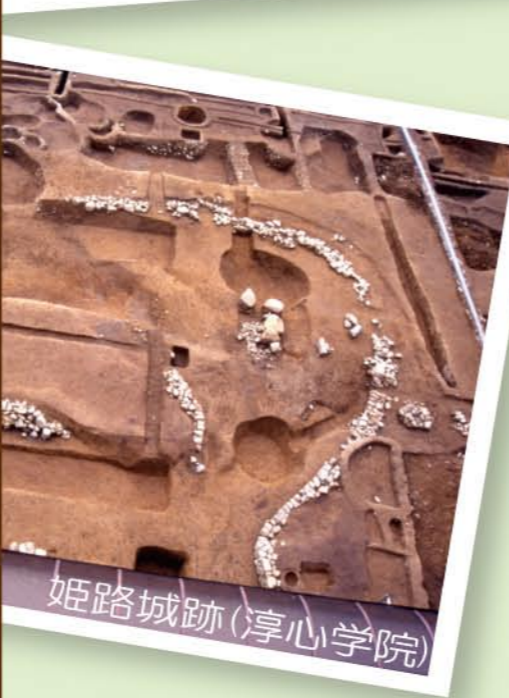
姫路市埋蔵文化財センター



英賀保駅周辺遺跡



坂本城跡



姫路城跡(淳心学院)

姫路市埋蔵文化財センター平成18年度春季企画展「発掘調査速報展」展示品目録

番号	品名	員数	遺跡名	番号	品名	員数	遺跡名
1	弥生土器 壺	4	和久遺跡	42	弥生土器 甕	2	英賀保駅周辺遺跡
2	弥生土器 長頸壺	1	和久遺跡	43	弥生土器 高杯	1	英賀保駅周辺遺跡
3	弥生土器 甕	2	和久遺跡	44	弥生土器 器台	1	英賀保駅周辺遺跡
4	弥生土器 無頸壺	1	和久遺跡	45	瓦質土器 風炉	1	英賀保駅周辺遺跡
5	弥生土器 鉢	2	和久遺跡	46	木簡(模造品)	3	英賀保駅周辺遺跡
6	弥生土器 高杯	2	和久遺跡	47	土師器 皿	6	坂本城跡
7	弥生土器 山陰型甕形土器	1	和久遺跡	48	瓦質土器 火鉢	1	坂本城跡
8	弥生土器 彩色蓋	1	和久遺跡	49	瓦質土器 風炉	2	坂本城跡
9	土師器 甕	1	和久遺跡	50	染付 碗	2	姫路城跡 城南線
10	土師器 高杯	1	和久遺跡	51	染付 皿	1	姫路城跡 城南線
11	ガラス製勾玉	1	和久遺跡	52	色絵磁器 皿	1	姫路城跡 城南線
12	ガラス製小玉	1	和久遺跡	53	施釉陶器 壺	1	姫路城跡 城南線
13	碧玉製管玉	1	和久遺跡	54	施釉陶器 皿	1	姫路城跡 城南線
14	砥石	2	和久遺跡	55	施釉陶器 蓋	1	姫路城跡 城南線
15	打製石剣	1	和久遺跡	56	焼締陶器 鉢	1	姫路城跡 城南線
16	紡錘車	1	和久遺跡	57	焼締陶器 播鉢	1	姫路城跡 城南線
17	土錘	1	和久遺跡	58	焼塩壺 蓋・身	1	姫路城跡 城南線
18	滑石製円盤	2	和久遺跡	59	土師器 皿	1	姫路城跡 城南線
19	滑石製白玉	12	和久遺跡	60	染付 碗	3	姫路城跡 淳心学院
20	滑石製未製品	2	和久遺跡	61	染付 皿	1	姫路城跡 淳心学院
21	土製模造品	1	和久遺跡	62	白磁 紅皿	1	姫路城跡 淳心学院
22	石鏃	5	阿保遺跡	63	青磁 鉢	1	姫路城跡 淳心学院
23	石錐	1	阿保遺跡	64	施釉陶器 土瓶	1	姫路城跡 淳心学院
24	石匙	1	阿保遺跡	65	施釉陶器 蓋	1	姫路城跡 淳心学院
25	石棒	1	阿保遺跡	66	施釉陶器 灯明具	2	姫路城跡 淳心学院
26	縄文土器 深鉢	1	阿保遺跡	67	炮烙	1	姫路城跡 淳心学院
27	弥生土器 壺	1	阿保遺跡	68	泥面子	13	姫路城跡 淳心学院
28	弥生土器 高杯	2	阿保遺跡	69	鳩笛	1	姫路城跡 淳心学院
29	土師器 高杯	1	阿保遺跡	70	染付 碗	1	姫路城跡 北条口門跡
30	須恵器 甕	1	阿保遺跡	71	染付 鉢	1	姫路城跡 北条口門跡
31	顔面土製品	1	阿保遺跡	72	染付 蓋	1	姫路城跡 北条口門跡
32	碧玉製勾玉	1	阿保遺跡	73	染付 杯	1	姫路城跡 北条口門跡
33	石帯 丸柄	1	阿保遺跡	74	施釉陶器 碗	2	姫路城跡 北条口門跡
34	越州窯青磁 碗	1	阿保遺跡	75	施釉陶器 皿	1	姫路城跡 北条口門跡
35	越州窯青磁 水注	1	阿保遺跡	76	施釉陶器 灯明具	1	姫路城跡 北条口門跡
36	須恵器 硯	4	阿保遺跡	77	焼締陶器 ミニチュア甕	1	姫路城跡 北条口門跡
37	軒丸瓦	2	阿保遺跡	78	弥七コノロ	1	姫路城跡 北条口門跡
38	土師器 甕	1	阿保遺跡	79	おはじき	1	姫路城跡 北条口門跡
39	須恵器 平瓶	1	阿保遺跡	80	キセル吸口	1	姫路城跡 北条口門跡
40	須恵器 杯	2	阿保遺跡	81	汽車土瓶	2	姫路城跡 北条口門跡
41	土師器 杯	1	阿保遺跡	82	ガラス瓶	1	姫路城跡 北条口門跡

※所蔵はすべて姫路市教育委員会

凡例

1. 本書は平成18年4月29日(祝)から7月9日(日)まで、姫路市埋蔵文化財センターで開催する企画展「発掘調査速報展」の展示解説として作成した。
2. 表紙デザインは、野村知子による。
3. 今回の企画展は当センター職員が担当した。
4. この図録の編集は多田が行い、北野弘子の助力を得た。

姫路市埋蔵文化財センター

Himeji City Archaeological Research Center
〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1
TEL (079)252-3950 / FAX (079)252-3952
URL <http://www.city.himeji.hyogo.jp/maibun-center/>
E-mail maibun-center@city.himeji.hyogo.jp



坂本城跡

書写山南麓の坂本は交通の要衝であり、円教寺の門前町として栄えてきました。室町時代には、播磨守護である赤松氏の拠点も設置されています。城跡は西坂集落の南に位置し、約一七〇m四方の平城です。一部に高さ約三mの土塁が残り、赤松氏に関する城と考えられます。

昭和五十六年に初めて発掘調査が行われ、東側の堀などが見え、当時の奈良産の大型火鉢などが出土しています。また、土塁の構築技法などの中世土木技術についても解明がすすみました。



姫路城跡

日本を代表する城郭として世界文化遺産にも登録された姫路城は、十七世紀前期に完成しました。その構造は、天守や城主の館のある内曲輪を中心に、周囲を武家屋敷を主とした中曲輪、町屋や寺社からなる外曲輪で囲み、それぞれを堀と土塁で区画しています。

現在、中曲輪以内の大部分は国の特別史跡として保護されています。発掘調査は史跡地を中心に進んでおり、とくに武家屋敷地の構造や変遷について多くの成果を上げてきました。また、近年では外曲輪部分でも調査例が増え、すでに失われた城門や町屋の姿が明らかになりました。



和久遺跡

JR網干駅の南側に存在する、弥生時代後期から古墳時代初期の集落跡です。平成十三年の病院建設に伴う発掘調査によって、その実態が初めて明らかとなりました。

この調査では、堅穴住居跡が百棟分あまりも検出され、弥生時代の住居の構造、使われていた土器の変遷などを研究することができ、貴重な情報を得ることができました。

また、遺跡の周辺には国指定史跡丁瓢塚古墳をはじめ古墳時代前期の前方後円墳が目立つのに比べ、被葬者が暮らしていた集落についてはよくわかっていません。和久遺跡は揖保川流域全体の弥生時代から古墳時代の移り変わりを探るためにも重要な遺跡であるといえます。



阿保遺跡

市川西岸の阿保は『播磨国風土記』に「英保里」として出ており、早くから開けていました。現在、区画整理事業を実施中ですが、先行して行った試掘で阿保遺跡第一地点、第二地点など六箇所の遺跡が発見されています。

発掘調査は平成十三年度から行っています。これまでに阿保遺跡第二地点では、石鏃や石棒など縄文時代終わり頃の石器や弥生時代中期の土器などが出土しました。

平安時代の遺構からは中国の越州窯産の青磁(越磁)の碗や水差しの一部が見つかっています。当時の役人が着用した石帯の飾りや須恵器の硯なども出土しており、官衙など重要遺跡が存在したものと考えられます。



英賀保駅周辺遺跡

遺跡のある荒川地区は、古くから開発された地域で『播磨国風土記』には「伊和里」「英賀里」と記されています。

土地区画整理に伴う試掘調査で第一地点から第四地点まで四ヶ所の遺跡が見つかりました。遺跡の時期は旧石器時代から安土・桃山時代までと非常に長期にわたり、この地域の開発の古さを物語っています。

第三地点においては、室町時代の井戸から年号のある木簡がまともに見つかり、その井戸枠には花押が書かれていました。第四地点では、弥生時代後期の土器が一つの穴の中からまともに出土するなど当時の生活を考える上で重要な発見が相次いでいます。